

ヨブ記結晶の学び#6:神を獲得して、神の目的のために神によって造り変えられる 3/8-14 **OL Summary: I.** ヨブに対する神の意図は、ヨブが天のビジョンと神のエコノミーの実際の中に生きる人となることでした。A. ヨブの経験は、神の神聖なエコノミーにおいて神によって取られた段階であって、自ら満足していたヨブを消耗させ、はぎ取るところを遂行して、ヨブを取り壊しました。それは、神が道を得て、神ご自身をもってヨブを再建し、神をさらに深く追い求めることの中へとヨブを導いて、ヨブが神の祝福と、自分の完全さと高潔さにおける達成ではなく、神を獲得するためでした。B. 神を顧慮していない者は、多くのものを獲得するかもしれませんが、繁栄しているように見えるかもしれませんが。しかしながら、神を顧慮する者は、神によって制限され、さらには神によって多くのものをはぎ取られるでしょう。神を追い求める者たちに対する神の意図は、彼らが神の中にあらゆるものを見いだして、絶対的に神ご自身を享受することからそらされないようにすることです。C. 神の聖なる民を対処する神の目的は、彼らがすべてを空にされて、神だけを彼らの獲得として受け入れることです。神の心の願いは、私たちが神を命として、命の供給として、私たちの存在のすべてとして、完全に獲得することです。D. 私たちは、神聖な分与を伴う神のエコノミーの実際の中を生きるために、神がご自身を私たちの内面的な構成の中へと建造し込んで、私たちの全存在がキリストで再構成されることを必要とします。E. キリストの中で、神は人の中へと構成され、また人は神の中へと構成され、神と人は共にミングリングされて一つの実体、神・人となりました。このことが暗示するのは、神のエコノミーにおける神の意図が、ご自身を人と成らせ、人を神格においてではなく、命と性質において神とならせるということです。II. 神のエコノミーは、神が肉体と成ることを通して、肉体における人と成り、人が造り変えを通して、その霊の中で神となって、神を人の中へと建造し込み、人を神の中へと建造し込んで、団体の神・人を獲得することです：A. 永遠であり三一である神が人と成って経過した、最も驚くべき、卓越した、奥義的な、すべてを含む造り変えは、人の中での神の行動であり、神の永遠のエコノミーを完成します/これらの造り変えは、三一の神が経過した手順です。その中で三一の神は、神・人と成って、神性を人性の中へともたらし、神性と人性をミングリングして、原型となり、多くの神・人を大量に複製しています。彼は三一の神の具体化となり、神を人にもたらし、神を、接触することのできる、触れることのできる、受け入れることのできる、経験することのできる、入ることのできる、享受することのできるものとなりました。』神はこれらの造り変えについてホセア11:4で語って、「私は人の綱、愛のききらずなで彼らを引いた」と言っています。「人の綱、愛のききらずなで」という句が示していることは、神が私たちに彼の神聖な愛で愛するのは、神性の水準においてではなく、人性の水準においてであるということです。神の愛は神聖なものですが、それが私たちに届くのは、人の綱において、すなわち、キリストの人性を通してです/神が私たちに引く綱(これらの造り変え、これらの手順)は、キリストの肉体と成ること、人の生活、十字架、復活、昇天を含んでいます。キリストの人性におけるこれらすべての段階によって、神の救いにおける愛は私たちに届きます。

B. 三部分から成る人の造り変えは、神の行動であって、人を神化し、手順を経て究極的に完成された三一の神をもって人を構成します。神がヨブに現れた時、ヨブは神を見て、神を獲得し、神の目的のために神によって造り変えられました/私たちは、「おお、主よ、私はあなたを愛します。私はあなたを喜ばせたいのです」と単純に主に告げることによって、私たちの心を主に開くことができます。』C. 造り変えは、私たちを一つのかたち、すなわち古い人のかたちから、別のかたち、すなわち新しい人のかたちへと移します。主は、キリストの死の殺すことによってこの造り変えの働きを完成します/キリストの死は、複合の霊の中にあります。その霊はキリストの死とその効力の適用です/私たちに関係のあるすべての人、事、物は、聖霊の手段であって、私たちのために働いて益(good)となります。それは、私たちが善きもの(good)を、すなわち、三一の神ご自身を積み込まれることができるためです。D. 造り変えは、私たちが聖霊の管理を経験するとき、私たちの中で遂行されます/私たちは、内なる活動する霊と協力して、神が私たちのために案配した環境を受け入れるべきです。III. 務めは、啓示に苦難が加えられて生み出されるものです。私たちが見るものは、苦難を通して私たちの中へと造り込まれます。このゆえに、私たちが供給するものは、私たちであるものです。A. 奉仕者は多くいますが、彼らはただ一つの務め、すなわち神の新約エコノミーを完成するための新契約の務めを持っています。私たちがキリストと共に働くことは、この唯一の務めを遂行することであり、キリストを人に供給してキリストのからだを建造することです。B. 全体として、からだは一つの、唯一の団体の務めを持っていますが、この務めはキリストのからだの奉仕であるので、またこのからだには多くの肢体があるので、すべての肢体には各自の務めがあります。それは、その唯一の務めを遂行するためです。C. この務めは、私たちが経験したキリストを供給するためであり、それは、苦難、消耗させる圧迫、十字架の殺す働きを通して得られるキリストの豊富を経験することによって、構成され、生み出され、形成されます/その霊の務めは、私たちが神聖な啓示の高嶺に到達するためであり、それは、私たちがキリストを、命を与えるその霊として供給することによります/義の務めは、私たちが神・人の生活の中へと入るためであり、それは、私たちがキリストを、私たちの客観的な義としてだけでなく、また私たちの主観的な、生かし出された義として供給して、キリストを真に表現することによります/和解の務めは、私たちがキリストの牧養する天の務めにおいてキリストとの一の中で、神にしたがって人を牧養するためであり、それは、私たちがキリストを和解の言葉として供給して、神の民を、至聖所としての彼らの霊の中へともたらし、彼らを霊の中の人とならせることによります。D. 患難は、キリストのすべての豊富を伴った恵みの甘い訪れと化身です。恵みは、おもに患難の形で私たちに訪れます。E. 神はご自身を愛として、私たちに与えられた聖霊と共に私たちの心の中に注ぎ、私たちの内側の動機づける力とならせました。それは、私たちがすべての患難の中で勝ち得て余りがあるためです。ですから、私たちはどのような患難でも耐え忍ぶとき、恥をかかせられることはなく、キリストを生きて、キリストを大きく表現します。

CP1:若い時から霊を活用し、その霊で満たされて
神を表現する神・人の生活を実行する

OL1:ヨブに対する神の意図は、ヨブが天のビジョンと神のエコノミーの実際の中に生きる人となることでした。

OL2:神を顧慮していない者は、多くのものを獲得するかもしれませんが、繁栄しているように見えるかもしれません。しかしながら、神を顧慮する者は、神によって制限され、さらには神によって多くのものをはぎ取られるでしょう。神を追い求める者たちに対する神の意図は、彼らが神の中にあらゆるものを見だして、絶対的に神ご自身を享受することからそらされないようにすることです。

ピリピ3:13-14 兄弟たちよ、私はまだ自分自身、捕らえたとはいっていません。ただ一つの事、すなわち、後ろにあるものを忘れて、前にあるものに向かって体を伸ばしつつ、キリスト・イエスの中で私を上を召してくださった神の賞を得るために、目標に向かって追い求めています。

OL3:神のエコノミーは、神が肉体と成ることを通して、肉体における人と成り、人が造り変えを通して、その霊の中で神となって、神を人の中へと建造し込み、人を神の中へと建造し込んで、団体の神・人を獲得することです。**ヨハネ1:14**そして言は肉体と成って、私たちの間に幕屋を張られた。**I コリント15:45**最後のアダムは、命を与える霊と成ったのです。

彼は人の生活を生きられましたが、人の命によって生きたのではなく、神聖な命によって生きて、彼の人性の美德において神聖な属性を表現しました。そのような生活は、多くの神・人の大量の複製である人の生活の模範です。

彼の死は単にすべてを含む死だけではありませんでした。それは…すべての問題を解決する死でした。そのような死を完成するために、主は罪の肉になられました(その様においてのみ)。彼は罪の肉の様を持っておられましたが、彼の中には罪はありません。彼が罪とされたのは、このことによりました。そして、肉において罪を罪定めされました。…私たちはこのことに十分な注意を払う必要があります。彼は神でした。第一に、彼は人と成られました。第二に、彼は神の具体化となられました。それは真の幕屋でした。それから、彼は小羊となられました。

主は人と成ることにおいて、蛇にもなられました(青銅の蛇としてのその様においてのみ)。…蛇となることによって、彼は死の力を持つ悪魔、太古の蛇を滅ぼし、また悪魔、その支配者の組織(サタン的な組織化によって発明された)、コスモスであるこの世を裁かれました。

最後のアダムとして、彼は古い人を終結させました。古い人の終わりとして、彼は古い人を十字架につけ、そして旧創造を終わらせました。古い人は旧創造の代表であり、中心です。ですから、古い人を滅ぼすことによって、彼は旧創造を終結させたのです。

すべてを征服する復活において、主は三つの主要なことを達成されました。第一に、主は彼の人性を引き上げ、神の長子として神から生まれました。第二に、...(私たちは)彼の多くの兄弟たちとしての神の多くの子たちとなりました。…第三に、キリストは最後のアダムとして、手順を経て究極的に完成された三一の神の究極的完成としての、命を与える霊、霊なるキリスト、すべてを含む、複合の霊となられました。

適用:新人及び青少年・大学生編

青少年、大学生、及び新人の皆さんは、若い時から霊を活用し、主に触れることを学び始めて下さい。

歴代志下34:3 ヨシヤの統治の第八年に、彼はまだ若かったが(16歳の時)、父祖ダビデの神を求め始めた。(最近の聖書通読より) FN「**まだ若かった**」:これは、人が若い時に、神と接触する能力があることを示します。

若い時から、霊を活用し、神のエコノミーを認識し、実行できますように! 三一の神は、受肉、人間生活、死、復活、昇天のプロセスを経過しました。それは、あなたが良い人になるためではなく、内側に神の分与を受け入れて、神・人になるためです。神が人になったのは、人が、神格においてではなく、命と性質において神となる、すなわち、神・人となるためです。人が神・人になるために、外側の聖霊の管理の下での環境上の苦難と内側の聖霊の更新が必要です。あなたは苦難の中で、心を主に開き、主だけを顧慮して下さい。

例えば受験勉強の時、あなたは先ず積極的に、前向きに受験に取り組んでください。あなたが天然的に積極的な人であれ、そうでない人であれ、内なる人、再生された霊の中で増強され、キリストがあなたの霊から魂の思い、意志、感情に広がるように、主に心の各部分を開いてください。そうすれば、キリストはあなたの心の中にホームを作ることができます。これが、あなたが新しい人の中で、積極的に、前向きに受験勉強に取り組む正しい方法です。受験勉強を斜に構えて(物事を正面から取り組まない態度)、しつこく取り組まないでください。そうではなく、正々堂々と正面から立ち向かってください。そうすれば、神聖な分与の中であなたは受験勉強に取り組むことができます。**エペソ3:16**どうか御父が、彼の栄光の豊富にしたがい、力をもって、彼の霊を通して、あなたがたを内なる人の中へと増強して下さいますように。**17** またキリストが、信仰を通してあなたがたの心の中に、ご自身のホームを造ることができますように。

その上で、受験という制限、苦難を受け入れてください。神が長いプロセスを経られ、今、命を与える霊になったことを思い出してください。あなたが受験勉強に真つすぐ前を向いて取り組むために、手順を経た神、命を与える霊によって、あなたの霊が増強され、あなたの心の中にキリスト、命を与える霊が広がるためです。キリストがあなたの思いの中に広がる時、あなたはキリストを知恵、理解力、暗記力、集中力などの必要な能力として経験できます。実は、あなたの必要はすべて、命を与える複合の霊の中に見いだすことができます。神・人の生活とは、その霊で満たされ、神を表現する生活です。また神・人は団体的に組み合わされて、キリストのからだを建造します。あなたの生活が、神のエコノミーの中の神聖な分与の下で祝福されますように!**祈り:**おお主イエスよ、神は私が神・人の生活を持つことを願っておられます。今の私が勉強しなければならない環境は、私の中に神が造り込まれるための制限です。斜に構えることなく、霊を活用して正面から勉強に取り組み、主を獲得することができますように。キリストを知恵、理解力、暗記力、集中力などの必要な能力として経験させてください。若い時から霊を活用し、主に触れることを学びます。アーメン!

CP2:主の人性の育みと神性の養いの中で、苦難に落胆せず強められて、環境を受け入れ環境を突破する

OL1:神はこれらの造り変えについてホセア11:4で語って、「私は人の綱、愛のきずなで彼らを引いた」と言っています。「人の綱、愛のきずなで」という句が示していることは、神が私たちを彼の神聖な愛で愛するのは、神性の水準においてではなく、人性の水準においてであるということです。神の愛は神聖なものですが、それが私たちに届くのは、人の綱において、すなわち、キリストの人性を通してです。**OL2:**神が私たちに引く綱(これらの造り変え、これらの手順)は、キリストの肉体と成ること、人の生活、十字架、復活、昇天を含んでいます。キリストの人性におけるこれらすべての段階によって、神の救いにおける愛は私たちに届きます。

ローマ8:37 これらすべての事柄において、私たちが愛してくださった方を通して、私たちは勝ち得て余りがあります。**38** ...死も、命も、...現在の事柄も、来たるべき事柄も、力も、**39** 高いものも、深いものも、他のどんな被造物も、私たちの主キリスト・イエスにある神の愛から、私たちが引き離すことはできないと、私は確信するからです。

神の愛が神の永遠の救いの源です。この愛はキリストの中にあり、聖霊を通して、私たちの心の中に注がれています。何もかも、私たちがこの神の愛から引き離すことはできません。神の救いにおけるこの愛は、私たちに對するキリストの愛となりました。この愛は、神の全体的な救いが私たちの中で完成されるまで、キリストの恵みを通して、私たちのために多くの驚くべき事をします。これらの驚くべき事は、神の敵があらゆる苦難や災難を用いて、私たちが攻撃することを引き起こします。しかしながら、これらの攻撃は、キリストにある神の愛に對する私たちの反応のゆえに、私たちの益となります。

OL3:造り変えは、私たちが聖霊の管理を経験するとき、私たちの中で遂行されます。

OL4:私たちは、内なる活動する霊と協力して、神が私たちのために案配した環境を受け入れるべきです。

Ⅱコリント3:16-17 彼らの心が主に向く時はいつも、そのおおいを取り除かれます。そして主はその霊です。そして主の霊のあるところには、自由があります。

どのようにして私たちは心を主に開くのでしょうか？ 私たちが決心したり決定したりするときはいつでも、私たちはまず主に次のように言わなければなりません、「**おお主よ、私はあなたを愛します。私は進んであなたを喜ばせます**」。このような祈りは、私たちの意志を主に開きます。いったん私たちの意志が開かれるなら、主はその中へと入られます。さらにまた、私たちが何かを愛したり欲したりするときはいつでも、私たちは少し立ち止まって、主に次のように言うべきです、「**おお主よ、私はあなたを愛します。私はあなたを喜ばせたいのです**」。これは私たちの感情を主に開きます。私たちがこれを行なうとき、主は確かに私たちの感情の中へと入られるでしょう。同様に、私たちがある事について考え始めるときはいつでも、私たちは考えることを少しやめて、主に次のように言うべきです、「**おお主よ、私はあなたを愛します。私はあなたを喜ばせたいのです**」。このように言うことは、私たちの思いを主に開かせ、この開くことを通して、主は私たちの思いの中へと入ることができるでしょう。

適用:ビジネスパーソン・大学院生編

神は人の綱、愛のきずなであなたを引きました。神の愛はキリストの人性の水準においてあなたに届きません。言い換えると、あなたの大学院の生活やビジネスライフにおいて、神の愛はキリストの中であなたに届き、あなたを引き寄せます。ビジネスライフで、あなたは組織変更、昇進、降格、ビジネス上の急激な変化によるリストラ、転職、あるいは会社の合併、倒産などを経験するでしょう。しかし、主はこのような現実的な状況であなたと共におられることに気付いてください。主は彼の人性の中で、あなたを育み、同情し、励まします。更に彼の神性の養いの中で、あなたの霊を増強することができます。このようにして、主の人性の育みと神性の養いの中で、苦難に落胆せず、強められて、環境を受け入れ、環境を突破してください。例えば、あなたと馬の合わない人が上司として配置されました。あなたはキリストを経験して上司の方針に従って業務を忠実に、遂行する必要があります。

エペソ 6:5 奴隷たちよ、キリストに従うように、恐れとおのきをもって、あなたがたの単一な心で、肉によるあなたがたの主人に従いなさい。**6** 人にへつらう上辺だけの仕方ではなく、キリストの奴隷として、心から神のみこころを行ない、**7** 人にではなく、主に仕えるように、奴隷として善意をもって仕えなさい。**8** あなたがたが知っているように、どんな良い事を行なっても、奴隷であれ自由人であれ、それぞれは主からその報いを受けるのです。

例外として、もし明らかな不法行為や不道徳が存在する場合、上司に反対を表明する必要があります。上司が不法を続ける場合、あなたは不法に関わらないために主と共に離職すべきです。このような環境下では、どうしていいかわからず、主が共におられないという不信仰に陥りがちです。主があなたの霊と信仰を増強してくださいように。この種の苦難は決して楽しいものではありませんが、あなたは苦難の中で成就されるのです。「このような環境は少し特殊なので、主に頼ってもしようがない」と考えてはいけません。実はすべての環境は聖霊の管理の下の環境であり、偶然ではありません。同時に、同じ聖霊があなたの中で働き、増強し、潤し、更新し、造り変えています。ですから、あなたは霊を活用し、心を主に開いて、主の環境上のアレンジメントと内側の造り変える働きを受け入れてください。

主の霊があるところには解放があり、主の霊がなければ、束縛からの解放はありません。主の霊が思いに広がると、思いは頑なさ、複雑さ、高ぶり、盲目、腐敗などの束縛から解放されます。思いを開き、思いを霊に付けて、主の霊が思いに広がるようにしてください。

祈り:おお主イエスよ、神の愛は、人の綱、すなわちキリストの人性を通して私に届きます。ビジネスライフの中で様々な環境の変化があり、深刻な苦難に遭遇した時にも、主は現実的な状況で私と共におられ、キリストの人性の中で、私を育み、同情し、励ましてくださることを感謝します。どうしていいかわからない困難な環境においても、不信仰に陥ることがないように、思いを霊に付けて、聖霊の管理の下で造り変える霊に開きます。

CP3:患難はキリストのすべての豊富を伴った恵みの甘い訪れである。恵みはおもに患難の形で訪れる

OL1: 私たちに関係のあるすべての人、事、物は、聖霊の手段であって、私たちのために働いて益(good)となります。それは、私たちが善きもの(good)を、すなわち、三一の神ご自身を積み込まれることができるためです。
IIコリント4:10 絶えずこの体に、イエスの致死力が働いています。それはまた、イエスの命が、私たちの体に現されるためです。**16** こういうわけで、私たちは落胆しません。それどころか、私たちの外なる人が朽ちていっても、私たちの内なる人は、日ごとに新しくされていきます。

私たちに関係するすべての事柄は、主の主権ある案配の下にあります。どのような仕事を持つか、だれと結婚するかは、完全に私たちによるものではありません。兄弟が、ある姉妹を選び、結婚した後、彼は間違いを犯したと考えるかもしれません。これが、主が夫に妻を愛するように命じている理由です。主の主権ある案配の下では、私たちは、毎日ほふられるために引かれていく子羊のようです。...毎日、私たちはキリストの死の殺すことの下にあります。それによって、内なる人の更新の中で、彼の命が私たちの体において現し出されます。

私たちの天然の力、天然の知恵、天然の聡明さ、天然の性情、天然の欠点、天然の美德、天然の特質、それに加えて私たちの性格と習慣はすべて、取り壊されなければなりません。それは聖霊が私たちの中に新しい性情、新しい性格、新しい習慣、新しい美德、新しい特質を造り込むためです。この再構成の働きを完成するために、神の聖霊は私たちの内側で動き、神聖な命をもって私たちを照らし、靈感を与え、導き、浸透します。彼はまた私たちの環境の中で働き、あらゆる人、事、物のあらゆる詳細に至るまで案配して、私たちが天然的に何であるかを取り壊されます。

OL2: 患難は、キリストのすべての豊富を伴った恵みの甘い訪れと化身です。恵みは、おもに患難の形で私たちに訪れます。

IIコリント4:1 こういうわけで、私たちはあわれみを得て、この務めを受けたのですから、落胆しません。

ローマ5:3-4 それだけではなく、私たちは患難の中でも勝ち誇るのです。それは、患難は忍耐を、忍耐は練達を、練達は望みを生み出すことを知っているからです。

もし私たちが、恵みを評価するが患難を評価しないと云うなら、それは神を愛するがイエスを愛さないと言ふようなものです。しかしながら、イエスを拒絶することは、神を拒絶することです。同じように、患難を拒絶することは、恵みを拒絶することです。...神の肉体と成ることは彼の恵み深い訪れでした。...私たちは神の訪れを愛するなら、彼の肉体と成ることを愛さなければなりません。恵みと患難についても同じです。患難は私たちに訪れる恵みの化身です。...忍耐は練達を生み出します。練達は、患難や試練を耐え忍んだ結果、良しと認められた質です。ですから、練達は良しと認められることのできる質、あるいは属性です。ときには、若い兄弟たちが他の人に良しと認められることは難しいです。彼らには、他の人によって容易に良しと認められる質を生み出す忍耐が必要です。

適用:ビジネスパーソン・奉仕者編

兄弟の証し: 私は以前、「通常環境では主の助けがあるが、特別な環境では主も助けようがない」と考え、主を侮っていました。「主よ、悔い改めます。私の不信仰の罪を赦してください」。

私は35~43歳まで働いていた会社は、オーラル・ケアの領域で成功していて、極めて利益率の高い会社でした。しかし突然、米国本社は当時世界最大の製薬会社に身売りすることを決定しました。一旦、会社が吸収されることが決まると、買収側のマネージメントが入って来て、何も自分たちでは決定ができなくなりました。当時私は、新規性の高い優れた新製品を厚生労働省と米国本社に働きかけ、開発していました。しかし、新しい親会社が送ってきた上司たちは、私たちが開発していた新製品について全く理解がなく、開発を途中で頓挫させてしまいました。私はProject Managerとして、全力を尽くして説明しましたが、一切理解されませんでした。私は本当に失望し、主が何をしておられるのか全く理解できませんでした。私はその時、「通常環境では主の助けがあるが、会社の吸収合併などの特別な環境では、主も私を助けられない」という極めて不信仰な結論に至りました。

私は主が何をしておられるのか良く理解しませんが、主の導きがあきらむるまで忍耐してとどまることを決めました。多くの同僚は様々なうわさを聞き、不安になり会社を早く去りました。しかし、会社は1年後に退職の特別パッケージを用意しました。私はそれを使って離職することができました。そして、製薬会社で医薬品と医療機器の両方の経験があったので、医療機器の最大手に転職することができました。半年後には、Managerから役員に昇進しました。その時、初めてすばらしい主の導きを理解しました。私は不平と不信仰に満ちていましたが、神のあわれみのゆえに何とか忍耐して1年間の苦難を経過できました。この苦難に満ちた合併がなければ、医療機器最大手で役員になるという、待遇を受けることができませんでした。しかも特別パッケージ付きで、退職しました。これらすべてを考へる時、私はただひれ伏して、神を礼拝し、自分の不信仰の罪を告白しました。更に私は約15名の兄弟姉妹を、彼らの召会生活のために雇用することができました。

私は献身を更新し、「私はこのような不信仰の中で、倒れかけながらも、神のあわれみのゆえに忍耐することができました。結局神の導きの下で、人の目には奇跡的に、今の地位を得ることができました。私はこの職業を主に捧げ返します。私はこの職業も用いて、必ず聖徒たちと共に召会を建造しなければなりません」と祈りました。私は2003年4月に転職し、召会は2004年11月に魚崎集会所を購入することができました。

祈り: おお主イエスよ、私に関係するすべての事柄は、主の主権ある案配の下にあります。それは私の天然の性情や性格、習慣がすべて取り壊されて、聖霊が私の中に新しい性情、新しい性格、新しい習慣、新しい美德、新しい特質を造り込むためです。患難は私を訪れる恵みの化身であることを認識し、献身を更新します。どれほど困難な環境においても霊を活用し、思いを霊に付けて、主に信頼し、主と共に忍耐し、主の導きに従うことができますように。アーメン!